

日野町教育振興基本計画〔第Ⅱ期〕 (平成 29 年度改訂版)

平成 28 年度～平成 32 年度

まちを愛し、豊かな心に灯をともし

生きがいのあるまちづくり

平成 28 年 3 月
(平成 29 年 7 月改訂)

日野町・日野町教育委員会

はじめに

日野町教育振興基本計画は、中長期的に取り組むべき、本町の教育課題やめざすべき姿の共通認識とその実現に向けた取組の方向性を示すものです。

日野町では、平成23年度に、中学校を卒業するまでの0歳から15歳までの子どもたちの育ちを大切にし、一貫した教育を進めていくために「日野町子ども15年プラン」を策定し、平成27年度までを計画期間として、5年間の取組を進めてきました。その取組により、保小中一貫教育の体制づくりが進み、保育、教育内容の質も高まってきました。しかし、子ども達の学力、体力における課題、家庭での教育力の課題等、十分にその解決が図られているとは言い難い状況にあります。

このたび、平成27年度末で計画期間が終了したことに伴い、「日野町子ども15年プラン」の成果と課題を踏まえ、また平成27年7月に制定された「日野町教育大綱」の主旨をいかして、続く5年間の本町の教育施策の方向性を示すため、日野町教育振興基本計画〔第Ⅱ期〕として、計画を全面的に改定することとしました。

この計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間としますが、計画期間内であっても、「日野町教育大綱」の改定、その他の理由による見直しを行いながら、基本理念「まちを愛し、豊かな心に灯をともし 生きがいのあるまちづくり」のもと、次の5つを根幹とする日野町教育を推進していきます。

- 1 家庭、地域、保育所・学校等関係機関が一体となったあたたかい環境の中で、人として大切にすべき心を育みます。**
- 2 少人数、小規模校のよさをいかした、保小中一貫教育により、子ども達の力を最大限に伸ばします。**
- 3 地域全体で、安全、安心な学習環境を、あらゆる人に提供します。**
- 4 気軽に参加できる生涯スポーツで、健康づくりをすすめます。**
- 5 芸術や文化に触れる機会を増やし、豊かな情操を育みます。**

平成28年3月16日

教育長 長谷川 弘信

基本理念

まちを愛し、豊かな心に灯をともし 生きがいのあるまちづくり

【目標１】地域に根ざした生きがいづくり

～生涯学習の推進による自己実現と地域の自立促進～

《取組方策１－１ 社会全体での学習環境整備》

- (１) 社会全体で取り組む教育の推進
- (２) 家庭教育の充実
- (３) 指導者の育成と指導力の向上

《取組方策１－２ 生涯学習の推進》

- (１) 生涯学習推進体制の充実
- (２) 地域に根ざした自主活動の推進

《取組方策１－３ 人権・同和教育の推進》

- (１) 日野町人権・同和教育基本方針の策定
- (２) 啓発事業等の実施
- (３) 人権啓発推進員養成講座の開催
- (４) 隣保館・集会所事業の展開

【目標２】次代を担う人づくり 『日野町子ども１５年プラン（第Ⅱ期）』

～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進【保小中一貫教育】～

教育目標 心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成

- めざす子ども像
- 確かな学力をつけた子ども （自ら学ぶ力）
 - 豊かな人間性を身につけた子ども （ともに育つ力）
 - 健康で元気な子ども （たくましく生きる力）

《取組方策２－４ 人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進》

- (１) 生命尊重の心を育む教育の推進
- (２) 人権教育の推進

《取組方策２－５

豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進》

- (１) 学びの基礎を育むプログラムの展開
- (２) 学力向上の推進
- (３) 豊かな人間性、社会性を育む教育の推進
- (４) 健やかな体づくりの推進
- (５) 日野町のよさを伝える教育の推進
- (６) 主体的に課題解決する力を育成する教育の推進
- (７) 社会の進展に対応できる教育の推進

《取組方策２－６ 保小中連携の推進》

- (１) 子育て支援の充実（《取組方策３－８－２》（１）に掲載）
- (２) 就学支援の充実
- (３) 特別支援教育の推進
- (４) 小１プロブレムの解消
- (５) 小小連携の充実
- (６) 中１ギャップの解消と小中一貫教育の推進
- (７) 組織連携の強化
- (８) 小中一貫カリキュラムの作成

《取組方策２－７ 保育士、教員の資質の向上》

- (１) 教職員研修の充実
- (２) 校（所）内研修の充実

【目標３】学びのセーフティネット

～教育環境の充実と学習機会の確保～

《取組方策３－８ 教育環境の充実》

- (１) 安全教育の充実
- (２) 安全、安心な学校給食
- (３) 自主的活動の促進
- (４) 放課後子ども教室の開設
- (５) 地域防犯パトロール活動の充実

《取組方策３－８－２ 安心して子育てができる環境づくり》

- (１) 子育て支援の充実
- (２) 病児・病後児保育の実施
- (３) 延長保育の充実

《取組方策３－９ 人口減少に対応した学校教育の充実》

- (１) 将来に向けた教育制度及び教育環境の整備
- (２) 近隣町村立学校との連携の推進

《取組方策３－１０ 全ての者への学習機会の確保》

- (１) 住民のニーズに対応した学習機会等の提供
- (２) 日野高校の魅力化支援

【目標４】心身ともに健康で豊かな地域づくり

～生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境整備～

《取組方策４－１１ スポーツ・レクリエーションの振興》

- (１) スポーツ行事の実施
- (２) リバースポーツの普及、振興
- (３) スポーツ指導員の配置、スポーツ推進委員の養成及び社会体育、生涯スポーツの推進

《取組方策４－１２ ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実》

- (１) レクリエーションスポーツの推進
- (２) 総合型地域スポーツクラブの活動支援

【目標５】地域に根ざした文化の継承と創造

～芸術文化の振興と文化財の保護～

《取組方策５－１３ 文化活動の推進》

- (１) 芸術文化活動の支援
- (２) 各種団体の支援及び連携、協力

《取組方策５－１４ 読書活動の推進》

- (１) 図書館機能の充実
- (２) 子どもの読書活動を推進するための機会の提供と充実
- (３) 環境の整備と活動を支える人の育成

(4) 家庭での読書についての啓発・広報

《取組方策5－15 文化財の保存、活用、伝承》

(1) 文化財、遺跡等の保存と活用

(2) 歴史、文化等の伝承

(3) 町誌編さん

【目標 1】地域に根ざした生きがいくくり

～生涯学習の推進による自己実現と地域の自立促進～

社会構造の変化や技術革新、情報化、グローバル化が著しい今日の社会にあって、本町では少子高齢化、人口減少が一層進み、集落の機能さえも危ぶまれる状態に陥っています。一方、生活様式や価値観の多様化により地域社会の一員としての意識や連帯感が希薄となり、家庭の子育てや教育力の低下も見られています。このような中、生涯の各期における新たな生活課題や学習要求は、ますます多様化しており、生涯にわたって充実した生活を送り自己実現を果たすためには、絶えず学習する必要性が増しています。

また少子高齢化、人口減少による地域の活力低下も大きな地域課題となっています。その解決には、全ての取り組みを『人権と福祉』の視点で考えることが大切です。「いつでも、どこでも、誰でも、どんな場合でも」町民が等しく福祉を享受できるという基本理念のもとに、安全、安心、希望の見える地域づくり、部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃と人権尊重の社会づくりが大切になってきます。

これらのことから、学習内容の体系化や推進体制の整備を図るとともに、生涯学習の振興及び家庭教育の充実を図り、個人の自立と自己実現を促進します。また、町民相互の助け合い、ボランティア活動等の体験を、人づくり、まちづくりのコンセプトとして活かし発展させていきます。とりわけ青少年の育成については、家庭、地域、関係機関が連携を図りながら、取組を推進していきます。

《取組方策 1－1 社会全体での学習環境整備》

(1) 社会全体で取り組む教育の推進

保護者や地域住民の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を推進し、地域社会全体で子どもたちを育むとともに、地域コミュニティの活性化を図ります。

- コミュニティ・スクールの指定
- 「家庭の日」等の展開
- 「日野町休日活動支援事業」の展開
- 青少年育成会事業の充実

(1)社会全体で取り組む教育の推進	指 標	現況値	目標値
	コミュニティ・スクールの指定	—	平成31年指定
	コミュニティ・スクール推進委員会の開催（29～30年度）	—	年5回
	地域コーディネーターの配置	1人（29年度）	1人
	CSディレクターの配置	—	1人
	家族と一緒に時間を過ごしている児童生徒の割合	84.9%	90.0%
	子どもたちと一緒に時間を過ごしている保護者の割合	88.3%	90.0%
	図書館、公民館等が主催する支援事業に参加している児童生徒の割合	5.0%	20.0%

（２）家庭教育の充実

家庭の役割を十分に認識し、地域や保育所・学校、関係機関と連携しながら、自他の生命を尊重する心の育成、基本的生活習慣の確立、家庭学習の習慣化等の取組が進められるように支援します。また、テレビやゲーム、インターネットなど、メディアとの適切な関わり方についての啓発を進めます。

○自他の生命を尊重する心の育成

- ・アットホームデー等、家族で触れ合う活動の推進
- ・親子、家族と一緒に生命について学ぶことができる機会の充実

○基本的生活習慣の確立

- ・凡事徹底：「あいさつ」「返事」「履き物そろえ」
- ・「早寝」「早起き」「朝ごはん」の推進
- ・正しいスプーンや箸の持ち方の徹底

○家庭学習の習慣化

- ・「家庭教育・家庭学習の手引き（第1次改訂版）」の有効な活用
- ・「強化月間」等をいかした習慣化の促進

○メディアとの適切な関わり方についての啓発

- ・研修会の開催
- ・啓発資料の配布

(2)家庭教育の充実	指 標	現況値	目標値
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	(小6)60.0% (中3)46.4%	(小6)80.0% (中3)70.0%
	夢や希望を持ち、それに向けて努力している児童生徒の割合【再掲 2-5(1)(3)】	67.7%	80.0%
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合【再掲 2-4(1)(2)】	(小6)96.0% (中3)85.7%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合【再掲 2-4(1)】	(小6)100% (中3)89.3%	(小6)100% (中3)100%
	あいさつ・返事・履き物そろえをしている児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	90.9%	100%
	早寝・早起きをしている児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	67.4%	80.0%
	朝食を食べている児童生徒の割合【再掲 2-5(1)(4)】	93.1%	100%
	はしを正しく持つことができる児童生徒の割合【再掲 2-5(4)】	55.3%	70.0%
	家庭学習の目標時間を達成している児童生徒の割合	60.1%	95.0%
	家で、自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合	(小6)60.0%	(小6)80.0%

		(#3)32.1%	(#3)85.0%
	家で、学校の授業の予習をしている児童生徒の割合	(小6)36.0%	(小6)50.0%
		(#3)21.5%	(#3)50.0%
	家で、学校の授業の復習をしている児童生徒の割合	(小6)40.0%	(小6)55.0%
		(#3)28.6%	(#3)55.0%
	「家庭教育・家庭学習の手引き」を活用している保護者の割合	44.4%	80.0%
	家庭学習を促している教員の割合	83.3%	100%
	メディアに触れる時間を家族で話し合っている児童生徒の割合	44.4%	60.0%
	テレビ等を見る時間が2時間以上の児童生徒の割合	(小6)72.0%	(小6)55.0%
		(#3)57.1%	(#3)55.0%
	テレビゲーム等をする時間が1時間以上の児童生徒の割合	(小6)52.0%	(小6)45.0%
		(#3)50.1%	(#3)40.0%
	携帯、スマホ等を使う時間が1時間以上の児童生徒の割合	(小6)4.0%	(小6)4.0%
		(#3)46.4%	(#3)35.0%

(3) 指導者の育成と指導力の向上

指導者の育成、確保を進めるとともに、研修会等への参加により、その資質、指導力の向上を図ります。

- 各種研修会の情報提供
- 保護者会、PTA主催研修会の支援

《取組方策1－2 生涯学習の推進》

(1) 生涯学習推進体制の充実

生涯学習推進体制の充実を図るため、行政、社会教育関係団体、文化団体、産業経済団体、社会福祉団体等と相互連携、協力関係を深めます。

- 各種連絡会議等の開催
- 日野町生涯学習カレンダーの発行

(2) 地域に根ざした自主活動の推進

社会教育の活性化を図り、地域における公民館活動の振興による、地域に根ざした自主活動の促進に努めます。

- 公民館学習講座の充実
- おしどり学園の開催
- ボランティア活動、自然体験活動等の推進
- 各種団体の活動支援

	指 標	現況値	目標値
(2)地域に根ざした自主活動の推進	公民館利用団体数（利用回数）	37 団体 (449 回)	40 団体 (480 回)
	公民館学習講座数（平均参加者数）	13 回 (103 人)	17 回 (170 人)
	おしどり学園の平均参加者数	28 人	50 人
	ボランティア活動、自然体験活動等の開催回数	4 回	6 回
	公民館まつり参加団体数	35 団体	40 団体
	公民館まつり観覧者数	393 人	500 人

《取組方策 1－3 人権・同和教育の推進》

(1) 日野町人権・同和教育基本方針の策定

人権学習の指針となる人権・同和教育方針を策定します。

(1)基本方針の策定	指 標	現況値	目標値
	日野町人権・同和教育基本方針の策定	—	30年度策定

(2) 啓発事業等の実施

様々な人権課題について学習を深め、それぞれの人権課題や人権基準、人権の普遍性について理解と認識の醸成をめざします。また、人権問題が暮らしの中の様々な場面に存在し、その課題解決が自己の人権確立でもあり、地域づくりへの重要な基本であることを理解する学習を進め、あわせて積極的な行動化を促します。

○日野町人権・同和教育推進協議会事業の推進

- ・日野町人権・同和教育研究集会の開催
- ・人権啓発講演会の開催
- ・町民人権講座の開催
- ・小地域座談会の開催
- ・「人権のまち“ひの”」の発行

○調査研究事業の実施

- ・生活実態の調査、分析

(2)啓発事業等の実施	指 標	現況値	目標値
	日野町人権・同和教育研究集会の参加者数	134 人	200 人
	人権啓発講演会の参加者数		
	町民人権講座の参加者数（延べ人数）	157 人(26年度)	200 人
	小地域座談会の開催地区数	44 地区(26年度)	50 地区
	生活実態の調査、分析	—	取組への反映

(3) 人権啓発推進員養成講座の開催

学習会の企画、運営力向上及び人権学習プログラムの作成を目的として人権学習推進員養成講座を開催し、小地域座談会や企業、団体等の研修、学習会の充実をめざします。

○小地域座談会等人権学習推進者養成講座の開催

(3)養成講座の開催	指 標	現況値	目標値
	小地域座談会等人権学習推進者養成講座の参加者数	20 人(26年度)	30 人

(4) 隣保館・集会所事業の展開

住民ニーズの掘り起こしと、ニーズに沿った学習講座を、より広く町民に提供するとともに、相談活動の充実をめざします。また、各課や福祉関

係団体等と連携し、新たな人権福祉サービスを推進します。

- 日野町解放文化祭の開催
- 部落解放標語・人権尊重標語の募集
- 榎の実学習会の実施
- 交流事業の実施
- 学習講座の充実

(4)隣保館・集会所 事業の展開	指 標	現況値	目標値
	日野町解放文化祭の参加者数（延べ人数）	440人(26年度)	500人
	部落解放標語・人権尊重標語の応募総数	243点(26年度)	一般の部の応募数増

【目標2】次代を担う人づくり 『日野町子ども15年プラン（第Ⅱ期）』

～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進【保小中一貫教育】～

基本的な生活習慣や忍耐力、思いやりや協調性を身につけ、自分や周りの人やふるさとを愛する心を持つ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に向けて、家庭や地域と連携を深めながら、保小中一貫教育において、確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくり、日野町の良さを伝える教育の推進をめざします。

教育目標 心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成

- めざす子ども像
- 確かな学力をつけた子ども（自ら学ぶ力）
 - 豊かな人間性を身につけた子ども（ともに育つ力）
 - 健康で元気な子ども（たくましく生きる力）

《取組方策2－4 人間尊重の精神と生命を大切にする教育の推進》

（1）生命尊重の心を育む教育の推進

生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する心を、すべての保育活動、教育活動を通じて育みます。

- 道徳教育の充実
- 生命尊重の心を育む教育の充実
 - ・鳥取大学医学部との連携による「命の授業」の展開
- 生命の大切さを実感できる教材の開発

○いじめの根絶

- ・日野町いじめ防止基本方針による取組の推進
- ・学校いじめ防止基本方針の策定と取組の推進
- ・いじめに係るアンケート調査の実施

	指 標	現況値	目標値
(1)生命尊重の心を育む教育の推進	まわりの人たちと仲良く過ごしている児童生徒の割合【再掲 2-4(2)】	89.8%	95.0%
	学級生活満足群の児童生徒の割合【再掲 2-5(3)】	51.9%	80.0%
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合【再掲 2-4(2)】	(小6)96.0% (中3)85.7%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合	(小6) 100% (中3)89.3%	(小6) 100% (中3) 100%
	いじめ解消率	—	100%

(2) 人権教育の推進

今までの取組を継承、発展させ、さらに充実した人権教育を推進します。

○人権教育全体計画及び年間指導計画にもとづいた保育、授業実践

- ・普遍的な視点、個別具体的な視点の明確化
- ・育てたい資質、能力と方策の明確化
- ・児童生徒対象アンケートの実施等、多角的な評価

○授業の工夫、改善と研修会の充実

- ・各教科等の特質を踏まえた学習内容の設定
- ・育てたい資質、能力に対応した学習内容の設定

	指 標	現況値	目標値
(2)人権教育の推進	人権教育の視点に立った学習の指導案作成及び授業公開	年1回公開	年1回以上
	人権教育アンケートの実施	—	年1回
	保学会人権教育研修会の開催	隔年開催	年1回
	人権教育推進計画の見直し	第8次改定	本計画と同時に改定
	まわりの人たちと仲良く過ごしている児童生徒の割合【再掲 2-4(1)2-5(1)】	89.8%	95.0%
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-4(1)】	(小6)96.0% (中3)85.7%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	育てたい資質、能力の達成度	—	80.0%

《取組方策2-5

豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進》

(1) 学びの基礎を育むプログラムの展開

保育所と小学校、中学校が連携し、保護者を支援しながらプログラムを実践することを通して、学びの基礎となる基本的な生活習慣の定着、コミュニケーション力、自尊感情、セルフコントロール力を育てます。

《育てたい4つの力》

基本的な生活習慣	・心身ともに健康な生活を送るためのもとなる生活習慣 《重点項目》「食事」「睡眠」「整理整頓」「凡事徹底(あいさつ・返事・履き物そろえ)」
----------	---

コミュニケーション力	・他者の話を聞き、気持ちを理解し、情報を収集したり発信したりする力 《重点項目》「聞く」「話す」「関わる」
自尊感情	・自分を否定するのではなく肯定的に認め、自分らしさに自信を持ち、自分を価値あるものとして思えるようになること 《重点項目》「意欲」「前向き」「自己実現」「自己肯定感」
セルフコントロール力	・自分の感情や欲望をおさえる力 《重点項目》「自己抑制」「根気強さ」

○日野町学びの基礎を育むプログラム【巻末資料1】の実践

・プログラムの実践及び保護者への周知、啓発

(1) 学びの基礎を育むプログラムの展開	指 標	現況値	目標値
	あいさつ・返事・履き物そろえをしている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	90.9%	100%
	早寝・早起きをしている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	67.4%	80.0%
	朝食を食べている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-5(4)】	93.1%	100%
	自分の考えや意見を発表することが得意な児童生徒の割合【再掲 2-6(5)】	(小6)56.0% (中3)32.1%	(小6)60.0% (中3)50.0%
	友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童生徒の割合【再掲 2-6(5)】	(小6)100% (中3)92.9%	(小6)100% (中3)95.0%
	みんなで協力しうれしかった経験のある児童生徒の割合【再掲 2-5(6)】	(小6)92.0% (中3)75.0%	(小6)95.0% (中3)85.0%
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	(小6)60.0% (中3)46.4%	(小6)80.0% (中3)70.0%
	難しいことでも挑戦する児童生徒の割合	(小6)68.0% (中3)71.4%	(小6)80.0% (中3)75.0%
	ものごとを最後までやり遂げてうれしかった経験のある児童生徒の割合	(小6)96.0% (中3)92.9%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	夢や希望を持ち、それに向けて努力している児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-5(3)】	67.7%	80.0%
	まわりの人たちと仲良く過ごしている児童生徒の割合【再掲 2-4(1) (2)】	89.8%	95.0%

(2) 学力向上の推進

一人一人に確かな学力を身に付けます。

○少人数対策事業の実施

○「わかる授業」の推進

○モジュール学習や反復指導等による基礎的知識、技能の習得

※モジュール学習：10分、15分などの時間を単位として、取り組む学習形態

○公開保育や研究授業等を通じた指導方法の工夫改善

○正しい鉛筆の持ち方、姿勢（立腰）等の徹底

(2) 学力向上の推進	指 標	現況値	目標値
	授業の中で「わかった」「できた」と感じる児童生徒の割合	86.3%	90.0%
	全国学力・学習状況調査における正答率	全国平均以上 3/10	全調査全国平均以上
	標準学力調査における正答率	全国平均以上 8/29	全調査全国平均以上
	公開保育、公開授業及び事後研究会の回数【再掲 2-7(2)】	一人1回以上(小)	一人1回以上
	姿勢等に気をつけている児童生徒の割合	—	90.0%

(3) 豊かな人間性、社会性を育む教育の推進

子どもたちの豊かな心を育成するとともに規範意識の向上を図り、自他を大切にして行動しようとする心を育みます。また、子どもたちが温かい人間関係の中で、自分の将来に夢や希望を持ちながら、主体的に学んでい

こうとする意欲や態度の育成に努めます。

○道徳教育の充実

○キャリア教育の推進

- ・職場体験学習、保育体験、ボランティア活動等の実施

○体験、交流学习の促進

- ・小学校体験入学、ほこすぎ教室、日野高生徒との交流活動の実施
- ・カヌー教室、林間学校、修学旅行の実施
- ・米作り、野菜づくり、しいたけ植菌等生産活動体験の推進

○総合質問紙調査の実施、分析

(3)豊かな人間性、 社会性を育む教育の推進	指 標	現況値	目標値
	学校のきまりを守っている児童生徒の割合	(小6)88.0% (中3)82.1%	(小6)95.0% (中3)95.0%
	夢や希望を持ち、それに向けて努力している児童生徒の割合 【再掲 1-1(2)2-5(1)】	67.7%	80.0%
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童生徒の割合	(小6)32.0% (中3)25.0%	(小6)50.0% (中3)50.0%
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心のある児童生徒の割合	(小6)48.0% (中3)39.3%	(小6)65.0% (中3)65.0%
	週に1回以上新聞を読んでいる児童生徒の割合	(小6)20.0% (中3)17.8%	(小6)25.0% (中3)25.0%
	学級生活満足群の児童生徒の割合【再掲 2-4(1)2-6(6)】	51.9%	80.0%
	学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	(小6)92.0% (中3)71.4%	(小6)95.0% (中3)85.0%
	不登校出現率【再掲 2-6(6)】	0%	0%
	欠席日数7日以上(3月末)の出現率	15.6%	5.0%以下

(4) 健やかな体づくりの推進

適度な遊びや運動、バランスのよい食事を通して、将来に向かって生きていくたくましい体力や忍耐力を育てます。また、食に関する様々な学習や体験活動を通して、自己の食生活を振り返りながら、健康で楽しい人生が送れるように食育を推進します。

○体力、運動能力向上の取組の推進

- ・体力向上推進計画の策定及び計画の推進
- ・継続した体力、運動能力向上の取組の推進
- ・体育科授業内容の充実

○遊びやスポーツを通じた体力づくりの推進

○食育を通じた健康づくり

- ・朝食をきちんと食べることの習慣化
- ・バランスよく食べることの習慣化
- ・間食のとりかたについてのルールづくり

○楽しく食べる環境づくり

- ・家族と一緒に食事をする機会の増加
- ・あいさつ、基本的なマナーの徹底
- ・正しいスプーンや箸の持ち方の徹底
- ・食を通じた体験（料理、準備等）の推進

○地産地消の推進、食文化の継承

- ・地域の食文化の継承
- ・農業体験、生産体験学習の推進

○健康教育の推進

- ・学校保健委員会の開催
- ・フッ化物洗口の推奨

(4)健やかな体づくりの推進	指 標	現況値	目標値
	新体力テストにおける平均値	全国平均以上13/38	全種目全国平均以上
	健康な体づくりをしている児童生徒の割合	78.6%	90.0%
	朝食を食べている児童生徒の割合【再掲 1・1(2)2・5(1)】	93.1%	100%
	野菜を毎食食べる児童生徒の割合	41.6%	65.0%
	好き嫌いせず、バランスよく食べている児童生徒の割合	35.5%	70.0%
	給食を残さず食べている児童生徒の割合	88.1%	95.0%
	間食（おやつ）の時間や内容を考えて摂っている児童生徒の割合	40.4%	60.0%
	子どもだけで食事をするところがある児童生徒の割合	(朝食)39.8% (夕食)15.2%	(朝食)15.0% (夕食)10.0%
	はしを正しく持つことができる児童生徒の割合【再掲 1・1(2)】	55.3%	70.0%
	給食時間中に、姿勢等に気をつけている児童生徒の割合	77.9%	90.0%
	食事のあいさつをする児童生徒の割合	96.5%	100%
	給食をまわりの友達と楽しく食べている児童生徒の割合	81.0%	100%
	食事の準備や片付けをする児童生徒の割合	77.9%	95.0%
	児童生徒のう歯保有率	30.4%	10.0%
	学校保健委員会を年2回以上開催する学校の割合	0%	100%

(5) 日野町のよさを伝える教育の推進

日野町の豊かな自然や温かな人間関係など、日野町の良さを伝える保育、教育を推進し、ふるさとに愛着をもち、ふるさとを誇れる子どもを育てます。

○豊かな自然や歴史を活かした保育、教育の充実

- ・町内めぐり、ふるさと教室等の実施

○特色ある学校づくりの推進

○地域人材の保育活動、教育活動への積極的な活用

○ふるさと教育の教材、資料の作成と蓄積

(5)町のよさを伝える教育の推進	指 標	現況値	目標値
	日野町のよさを知っている児童生徒の割合	82.4%	90.0%
	日野町のことが好きな児童生徒の割合	85.0%	95.0%
	将来日野町に住みたいと考える児童生徒の割合	—	80.0%

（６）主体的に課題解決する力を育成する教育の推進

今後の地域、社会のあり方について主体的に考え、行動しようとする実践力を育てます。また、様々な社会問題を、自ら発見し、自ら学び、他者と協働して解決できる力を育みます。

○生活科、総合的な学習の時間の充実

- ・育てたい力の明確化と小中一貫の視点をふまえた目標の設定
- ・探究的で協同的な活動スタイルの確立

○特別活動の充実

- ・学級活動における話し合い活動の充実
- ・自治的な児童会活動、クラブ活動、生徒会活動の展開

○部活動の充実

	指 標	現況値	目標値
(6)主体的に課題解決する力を育成する教育の推進	「総合的な学習の時間」で学習したことが役に立つと思う児童生徒の割合	(小6)84.0% (中3)64.3%	(小6)90.0% (中3)75.0%
	「総合的な学習の時間」において、探究的活動に取り組んでいると思う児童生徒の割合	(小6)64.0% (中3)53.6%	(小6)70.0% (中3)60.0%
	「総合的な学習の時間」の小中一貫カリキュラムの策定	—	29年度策定
	「特別活動」の小中一貫カリキュラムの策定	—	29年度策定
	学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている児童生徒の割合	(小6)80.0% (中3)78.6%	(小6)90.0% (中3)80.0%
	友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めている児童生徒の割合	(小6)96.0% (中3)67.8%	(小6)96.0% (中3)80.0%
	みんなで協力しうれしかった経験のある児童生徒の割合 【再掲 2-5(1)】	(小6)92.0% (中3)75.0%	(小6)95.0% (中3)85.0%

（７）社会の進展に対応できる教育の推進

人と人とのコミュニケーションを大切にした、情報モラルを育成します。また、小学校からICT活用能力や英語活用能力、多様な価値観に対応できる力を養います。

※ICT：情報・通信に関する技術の総称（Information and Communication Technology）

○系統的な情報教育の展開

- ・情報教育全体計画、情報教育指導計画の策定
- ・PC、タブレット端末、電子黒板等、ICT機器の有効な活用

○小中一貫の視点をふまえた外国語活動、外国語指導計画の作成と実践

- ・外国語活動、外国語の小中一貫カリキュラムの策定
- ・ALTの配置とより効果的な活用

※ALT：外国人指導助手（Assistant Language Teacher）

○公設英語教室の展開

- ・日野町英語教室「英語寺子屋」の実施

○外国語指導力向上事業の実施

・教職員の英語力、指導力向上のための研修会の開催

(7)社会の進展に対応できる教育の推進	指 標	現況値	目標値
	情報モラル教育の実施学級の割合	83.3%	100%
	タブレット端末の全児童生徒への配備	14.7%	100%
	ネットワーク上のルールやマナーを守って情報端末を利用している児童生徒の割合	—	90.0%
	外国語活動、外国語の小中一貫カリキュラムの策定	—	29年度策定
	ALT の配置	1 人	1 人
	小学校での担任を T1 とする外国語活動、外国語の授業の割合	100%	100%
	外国語でコミュニケーションをとることが好きな児童生徒の割合	—	80.0%
	英語教室「英語寺子屋」に参加している児童生徒	15 人 (29年度)	40 人

《取組方策 2－6 保小中連携の推進》

(1) 子育て支援の充実

(《取組方策 3－8－2》(1) に掲載)

(2) 就学支援の充実

障がい、児童虐待等により支援を要する子どもや保護者に対して、関係機関が連携して適切な対応を行うように努めます。

○乳幼児健診、就学時健診結果を活かした就学支援

- ・発達障がい等の早期発見、早期支援

○連絡会議の開催

- ・子ども支援連絡会
- ・就学支援委員会
- ・いじめ・不登校対策連絡会
- ・自立支援サポート会議

○支援を要する家庭や子どもへの支援

- ・保育所や学校、SC、SSWer、関係機関、民生児童委員等との連携強化

※SC：スクールカウンセラー ※SSWer：スクールソーシャルワーカー

- ・相談体制の充実

(2)就学支援の充実	指 標	現況値	目標値
	SSWer の配置	週 1 日	週 5 日

(3) 特別支援教育の推進

障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するための必要な支援を行います。

- 保育所、学校における特別支援教育推進体制の整備と取組の充実
 - ・特別支援教育推進委員会の開催
 - ・LD等専門員による相談活動の活用
 - ・通級指導教室の活用
- 個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成、活用と引き継ぎ
 - ・個別の指導計画の作成、活用と引き継ぎ
 - ・個別の教育支援計画の作成と引き継ぎ
- 啓発活動の実施
 - ・啓発資料の作成
 - ・職員研修会の開催

(3)特別支援教育の 推進	指 標	現況値	目標値
	個別の教育支援計画の活用率	100%	100%
	個別の指導計画の活用率	100%	100%
	中学校から高等学校への個別の教育支援計画の引継率	100%	100%

(4) 小1プロブレムの解消

保育士、教員が、保育所、小学校お互いの保育内容、教育内容について理解し、見通しをもった指導を行います。また、児童が小学校入学後にスムーズに小学校生活に適応できるように、体験活動や支援の充実を図ります。

※小1プロブレム：小学校に入学したばかりの1年生が、(1)集団行動がとれない(2)授業中に座ってられない(3)先生の話聞かない、などと学校生活になじめない状態が続くこと。

- 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の実践
 - ・保育所年長児を対象とした「アプローチカリキュラム」の展開
 - ・小学校1年生を対象とした「スタートカリキュラム」の展開
- 保小連携事業、体験入学の実施
- 保育所、小学校への児童支援員の配置

(4)小1プロブレム の解消	指 標	現況値	目標値
	アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実施率	100%	100%
	児童支援員の配置	2人	2人
	自分で考え、自分で行動する児童の割合	—	(小1)90.0%

(5) 小小連携の充実

黒坂小、根雨小の児童の交流の機会を設け、中学校入学時にスムーズな仲間づくりができるようにします。また、一緒に活動することで、多人数で活動できるよさを体験します。

- 系統性のある小小連携事業の実施

- ・町内めぐり、ふるさと教室
- ・カヌー教室、しいたけ植菌
- ・林間学校、修学旅行
- ・各教科、領域での交流学习

○T T指導による理科学習の充実

	指 標	現況値	目標値
(5)小中連携の充実	自分の考えや意見を発表することが得意な児童の割合 【再掲 2-5(1)】	(小6)56.0%	(小6)60.0%
	友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童の割合 【再掲 2-5(1)】	(小6)100%	(小6)100%

(6) 中1ギャップの解消と小中一貫教育の推進

小中学校の教員が、相互に授業を公開し授業技術を磨くとともに、校種を超えた交流授業を実施することにより、授業における系統性を図りながら小中学校のなめらかな接続をめざします。また、小中9年間を見通したカリキュラムにもとづいた指導を行うことで、義務教育終了時に必要な力を身に付けます。

※中1ギャップ：小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化になじむことができず、いじめが増加したり不登校になったりする現象。

○小中学校教員のT Tによる交流授業の実施

○ほこすぎ教室（中学校への体験入学）での交流授業の実施

○小中一貫教育の制度化に係る研修の実施

	指 標	現況値	目標値
(6)中1ギャップの解消と小中一貫教育	中学校の先生と一緒にしている授業はよく分かるという児童の割合	77.8%	80.0%
	不登校出現率【再掲 2-5(3)】	(中1)0%	(中1)0%
	いじめ解消率【再掲 2-4(1)】	—	(中1)100%
	学級生活満足群の生徒の割合【再掲 2-4(1)2-5(3)】	—	(中1)80.0%

(7) 組織連携の強化

子どもたち一人一人の発達に応じたきめ細かな保育、教育の充実を図るため、保育所、学校をはじめとする関係機関の連携、協力体制を強化します。

○教育行政連絡会議等での情報共有の促進

○健康福祉課（健康福祉センター、要対協）、県教委等との連携強化

(8) 小中一貫カリキュラムの作成

小中一貫校、義務教育学校での実践に向け、平成29年3月に告示された新学習指導要領にもとづくとともに、子どもたちの発達段階を重視し、学習の系統性や連続性が保障される小中一貫カリキュラムを作成します。

○小中一貫カリキュラムの作成

- ・新学習指導要領にもとづいた年間指導計画の作成
- ・小学校高学年での教科担任制の導入検討

(8)小中一貫カリキュラムの作成	指 標	現況値	目標値
	小中一貫カリキュラムの作成	—	32年度完成
	小学校高学年教科担任制導入	—	カリキュラム作成と並行して検討

《取組方策 2-7 保育士、教員の資質の向上》

(1) 教職員研修の充実

保小中一貫教育推進委員会による組織の枠を超えた研修の充実に努めます。

- 全教職員対象の研修会の開催
- 新任教職員対象の現地学習会の実施
- 保育参加の実施

(1)教職員研修の充実	指 標	現況値	目標値
	小学校教員の保育参加参加率	40.0%	100%

(2) 校（所）内研修の充実

保育所や学校における研修を充実させ、保育士の「遊びきる子ども」を育む専門的・力量、教員の「確かな学力」を保障する授業力等を向上させます。

- 保育所や学校の校（所）内研修の充実
- 小小合同授業研究会の実施
- 異校種授業公開、授業研究会への参加
- 校（所）内研修への外部講師の招聘

(2)校（所）内研修の充実	指 標	現況値	目標値
	異校種授業公開、授業研究会への参加回数	1回以上(中)	1回以上
	校（所）内研修への外部講師の招聘回数	2回(中)	年2回以上
	公開保育、公開授業及び事後研究会の回数【再掲 2-5(2)】	一人1回以上(小)	一人1回以上
	授業の中で見通しを持たせる工夫をしている教員の割合	100%	100%
	体験的な学習を取り入れている教員の割合	96.7%	100%
	資料を使って調べたりする活動を取り入れている教員の割合	76.7%	85.0%
	考え方、分かったことをノートに書かせている教員の割合	93.3%	95.0%
	考え方や理由を説明する学習活動を設定している教員の割合	83.3%	85.0%
	話し合う活動を設定している教員の割合	73.3%	80.0%
	一人一人に応じた手立てや支援をしている教員の割合	90.0%	100%
	振り返りの工夫をしている教員の割合	70.0%	85.0%
	安心して発言できる雰囲気づくりを工夫している教員の割合	96.6%	100%
	「アクティブ・ラーニング」を意識した授業づくりをしている教員の割合	—	85.0%

【目標3】学びのセーフティネット

～教育環境の充実と学習機会の確保～

子どもたちが安全、安心な環境において学習できるようにするため、学校等の施設の防災機能強化等の教育環境整備を図るとともに、今後の日野町教育のあり方について町民とともに考え、子どもたちの学びを保障できる教育環境の整備をすすめます。

また、関係機関と連携を図りながら、地域課題や町民のニーズに即した学習機会及び学習内容の提供を行います。

《取組方策3－8 教育環境の充実》

(1) 安全教育の充実

地震や火災等の災害から児童生徒を守るために、実践的な防災教育を推進します。また、事件、事故から自らの身を守ることができるように、安全教育を充実させます。

○防災学習の推進

- ・ 京都大学等と連携した防災学習の展開

○避難訓練等の実施

- ・ 火災、地震、不審者等を想定した避難訓練の実施
- ・ 不審者対応訓練の実施
- ・ 町防災訓練への参加

○交通安全教育の充実

- ・ 自転車の安全な乗り方教室等の実施
- ・ 通学路安全点検の実施

○薬物乱用防止教室の実施

(1)安全教育の充実	指 標	現況値	目標値
	薬物乱用防止教室の実施率	100%	100%

(2) 安全、安心な学校給食

生産者、流通関係者、地域等と連携した日野町産の食材の利用促進、異物混入や食中毒事故が起こらない衛生管理体制の強化等を図り、安全、安心な学校給食の提供をめざします。また、食物アレルギーに対応できる体制整備を進めます。

○生産者との協議の場の設置

- 衛生管理の徹底及び事故発生時の迅速な対応
- 食物アレルギー対応指針の徹底
- 食物アレルギー対応体制整備についての協議

(2)安全、安心な学 校給食	指 標	現況値	目標値
	給食における地産地消の実施率	78.0%(25年度)	75.0%

(3) 自主的活動の促進

町の将来を担う青少年の健全育成に努めるため、町民団体等との連携を図り自主的活動の促進に努めます。

- 日野町青少年育成会との連携による事業推進

(4) 放課後子ども教室の開設

放課後子ども教室等を開設し、子どもたちの安全で安心な居場所を整備するとともに、学習活動や交流活動等を実施し、集団生活力の向上やリーダーシップの涵養を図ります。

- 放課後子ども教室、夏休み子ども教室等の運営体制の整備
- 放課後子ども教室、夏休み子ども教室等の内容の充実

(5) 地域防犯パトロール活動の充実

子どもたちが、安全、安心に生活できるまちづくりを推進するため、地域防犯パトロール活動を充実し、支援強化を図ります。

《取組方策3-8-2 安心して子育てができる環境づくり》

(1) 子育て支援の充実

学齢期に達するまでの育児の不安や悩みの相談、保護者同士の交流や子育てについての情報提供などを行い、安心して子育てができるような支援の充実をめざします。

- 子育て支援事業の適切な運用
 - ・子育て支援事業の内容充実
 - ・保護者説明会等を活用した事業趣旨の周知、情報提供
- 子育て支援室の充実
 - ・子育て支援室の運営体制の整備
 - ・育児不安等に対する相談、支援
 - ・子育てサークル等の育成、支援

(1)子育て支援の充 実	指 標	現況値	目標値
	すくすく「ひのっこ」子育て応援事業支援対象者数	41人	70人

	保育所入所待機児童数	0人	0人
--	------------	----	----

(2) 病児・病後児保育の充実

病気の回復期で、集団保育が難しい児童を、病児・病後児保育施設で預かることで、子育てと就労の両立を図ります。

(3) 延長保育の充実

保護者のニーズを把握し、延長保育ができる体制づくりを進めます。

《取組方策3-9 人口減少に対応した学校教育の充実》

(1) 将来に向けた教育制度及び教育環境の整備

小学校・中学校のあり方はどうあるべきかを町民とともに考え、将来にわたって子どもたちの学びを保障できる教育制度及び教育環境の整備をすすめます。

○将来に向けた教育環境の整備

- ・日野町教育のあり方検討会の開催
- ・義務教育学校（小中一貫校）検討委員会の設置

(1)教育制度及び教育環境の整備	指 標	現況値	目標値
	「日野町教育のあり方」検討会(仮称)の開催	—	年1回以上
	義務教育学校（小中一貫校）の設置	—	平成32年度中に方向性の明示

(2) 近隣町村立学校との連携の推進

近隣町村の小中学校との連携を図り、小規模校のメリットをいかし、デメリットを補う学習内容等について協議し、実践できるよう努めます。

- 西部地区町村教育広域連携事業の推進
- 日野郡連携会議教育部会事業の推進
- ・3町小、中学校交流活動の実施

(2)連携の推進	指 標	現況値	目標値
	近隣町村立学校との連携事業回数	—	年1回以上

《取組方策3-10 全ての者への学習機会の確保》

(1) 住民のニーズに対応した学習機会等の提供

住民の学習ニーズの多様化や、高齢者等社会教育施設までの来館が困難な人たちに考慮し、引き続いて出前公民館講座などを開催し、学習機会や学習情報の提供に努めます。また、行政各部門、関係機関と連携を図りながら地域課題や学習ニーズに即した内容の提供と支援を行います。

(1)学習機会の提供	指 標	現況値	目標値
	出前公民館講座実施回数	10 回	20 回

(2) 日野高校の魅力化支援

鳥取県立日野高等学校が魅力ある高校となるよう、近隣町と連携した支援の充実を図ります。

○日野高校との連携、交流事業の推進

(2)日野高校魅力化支援	指 標	現況値	目標値
	日野高校志願者数	46 人	100 人

【目標 4】心身ともに健康で豊かな地域づくり

～生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境整備～

町民が、いつでも、どこでも、誰とでも気軽にスポーツに親しめる環境を整備し、スポーツ・レクリエーションの普及、奨励を図り、健康で自立した活気ある地域づくりを推進します。

保育所では、楽しく体を動かす機会を確保しながら、幼児期の運動の習慣化を図ります。学校では、体育学習の充実を図るとともに、運動が日常的に子どもの中に定着し、習慣化されるように努めます。さらに、生涯スポーツの観点から、手軽に日常生活で取り組める運動やスポーツを奨励し、運動習慣づくりを進めます。あわせて、体育協会やD oスポーツ等各種競技団体主導による競技スポーツの推進を図ります。

《取組方策 4-11 スポーツ・レクリエーションの振興》

(1) スポーツ行事の実施

スポーツ団体等と連携し、町民が自主的かつ積極的に参加できるようなスポーツ行事の実施に努めます。

○町民体育祭の開催

○各種スポーツ行事の開催

・ 鶴の池マラソン大会

・ 日野町駅伝大会

○近隣市町村との連携事業への参加

・ 郡民体育大会

・ 四県四郡市総合体育大会

○各種スポーツ団体との連携及び運営協力

(1)スポーツ行事の 実施	指 標	現況値	目標値
	町民体育祭参加自治会数	11 組	14 組
	鶴の池マラソン大会参加者数	383 人	500 人
	日野町駅伝大会参加者数	89 人	150 人

(2) リバースポーツの普及、振興

日野川を生かしたリバースポーツの普及と振興を図るため、大会等や講習会の運営協力、リバースポーツ体験機会の拡充を図ります。

※リバースポーツ：川や湖などで行われるスポーツ。

○カヌー、ラフティングの普及

・カヌー教室、日野川くだり等の運営協力

(3) スポーツ指導員の配置、スポーツ推進委員の養成及び社会体育、生涯スポーツの推進

スポーツ指導員の配置、スポーツ推進委員の養成、確保とその資質向上に努め、社会体育及び生涯スポーツの推進を図ります。

○スポーツ指導員による小、中、高校生への指導、支援の実施

(3)推進委員の養成	指 標	現況値	目標値
	スポーツ指導員数	0 人	1 人
	スポーツ推進委員数	12 人	12 人

《取組方策 4-12 ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実》

(1) レクリエーションスポーツの推進

レクリエーションスポーツを積極的に推進し、子どもから高齢者まで、すべての町民にスポーツの楽しさを伝え、心身の健全な発達及び豊かなスポーツライフの実現を図ります。

○レクリエーションスポーツ大会の開催

(1)レクリエーションスポーツの推進	指 標	現況値	目標値
	レクリエーションスポーツ大会開催回数	2 回	2 回
	レクリエーションスポーツ大会参加者数	29 人	50 人

(2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援

総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、町民が生涯にわたってスポーツに接する機会を提供し、自立した活気ある町づくりを図ります。

【目標5】地域に根ざした文化の継承と創造

～芸術文化の振興と文化財の保護～

日野町図書館では、「日野町子どもの読書推進計画」に基づき、今までのそれぞれの活動が有機的につながり、いつでもどこでも一人一人が生きる力を育む本との出会いができるよう、自主的な読書活動を推進するための環境整備を進めていきます。

文化センターや公民館等では、町内の各種文化団体と連携して、町民の芸術・文化への関心を高めるとともに、まちの歴史や文化に触れ、郷土への愛着を深めるため、文化財の活用を推進します。

《取組方策5-13 文化活動の推進》

(1) 芸術文化活動の支援

文化センターを拠点として、優れた芸術、文化に接する機会を提供するとともに、町民ミュージカルやアートスタート、サロンコンサートなど、住民主体の芸術文化活動を支援します。

(1)芸術文化事業	指 標	現況値	目標値
	文化センター来場者数	16,944人(26年度)	17,600人
	文化センター利用率	65.2%	68.0%

(2) 各種団体の支援及び連携、協力

町内の各種文化芸術団体、グループの活動を支援し、自立した活動を促進するとともに、連携、協力を努めます。

《取組方策5-14 読書活動の推進》

(1) 図書館機能の充実

生涯学習の拠点としての日野町図書館の機能の充実と利用促進を図ります。

(1)図書館機能の充実	指 標	現況値	目標値
	日野町図書館を利用している児童生徒の割合	45.0%	55.0%

(2) 子どもの読書活動を推進するための機会の提供と充実

家庭、地域、保育所、学校等が連携して子どもの読書活動を推進します。

○家庭、地域での読書活動の推進

・ブックスタート、ブックスタートプラス等の実施

○図書館、保育所、学校での読書活動の推進

- ・読み聞かせ、ブックトーク、読む読むキャンペーン等の実施

○障がいのある子どもへの読書活動の推進

(2)読書活動を推進するための機会の提供と充実	指 標	現況値	目標値
	本を読むことが好きな児童生徒の割合	82.6%	85.0%
	平日の読書時間が10分以上の児童生徒の割合	62.1%	70.0%
	1か月に1冊以上の本を読んでいる児童生徒の割合	85.1%	90.0%

(3) 環境の整備と活動を支える人の育成

物的、人的な読書環境の整備を図ります。

○図書館の運営体制、図書環境の整備

○保育所、子育て支援室及び学校図書館の充実と学校図書館司書の配置

- ・司書教諭と学校図書館司書との連携強化
- ・学校図書館司書の効果的な配置
- ・図書館システムの効果的な運用

○読書ボランティアの育成と活動支援

(3)環境の整備と人の育成	指 標	現況値	目標値
	学校図書館を、1か月に5回以上利用している児童生徒の割合	49.7%	60.0%
	学校図書館司書の配置	2人	各校1人

(4) 家庭での読書についての啓発・広報

子どもの読書活動の一層の推進に向け、情報収集と啓発活動に努めます。

○読む読むキャンペーン、読書推進フォーラムの実施

○読書活動啓発資料の作成

○子どもの読書に関する情報の収集と提供

《取組方策5-15 文化財の保存、活用、伝承》

(1) 文化財、遺跡等の保存と活用

貴重なまちの財産を後世に残すため、長楽寺の仏像群をはじめとする指定文化財及びその他の文化財・遺跡などの保護を行います。また、まちの歴史、文化を分かりやすく知ってもらうため、歴史民俗資料館の展示方法を工夫します。

(1)文化財、遺跡等の保存と活用	指 標	現況値	目標値
	歴史民俗資料館来館者数	220人	300人

(2) 歴史、文化等の伝承

まちの歴史、自然、文化を活かした活動を推進し「文化・史跡めぐりウォーキング」など、町民の歴史、文化への関心を高める活動を行います。

(2)歴史、文化等の伝承	指 標	現況値	目標値
	「文化・史跡めぐりウォーキング」参加者数	30人	50人

(3) 町誌編さん

町制60周年（平成31年）に、「日野町誌」の続編となる町誌を発行します。

(3)町誌編さん	指 標	現況値	目標値
	町誌編纂計画推進到達割合	10.0%	平成31年 100%
	町誌作成資料の収集割合	20.0%	平成31年 100%

巻末資料１：日野町学びの基礎を育むプログラム（保小中連携プログラム）

日野町学びの基礎を育むプログラム（保小中連携プログラム）										
1. 基本的な生活習慣										
連携の観点			保 育 所			小 学 校		中 学 校		
			3歳児	4歳児	5歳児	下学年	上 学 年	全 学 年		
基 本 的 生 活 習 慣	食 事	視 点	・嫌いなものでも食べようとする。 ・箸を正しく持って食べようとする。	・正しい姿勢で食べる。 ・こぼした物は自分で拾って片付ける。	・一定量を一定時間内に食べ終わる。 ・正しい姿勢で座り食べる。	・食事の大切さが分かり、マナーに気をつけて食べようとする。 ・偏食をなくそうとする。	・栄養について知り、自分の健康を考えて食べる。			
		保・学のアプローチ	・ひとり一人の心身の状態を把握し、量を加減しながら、食事が楽しい雰囲気できるように、配慮工夫する。 ・家庭での食事状況を把握し、連携をとりながら進めていく ・楽しく食事をしながらマナーを知らせていく ・朝食の大切さを子どもたちに知らせると共に 家庭にも働き掛ける。			・朝食の実態を把握し、家庭、本人への働きかけをする。 ・給食のマナーを知らせ、楽しく食事を工夫をする。 ・嫌いなものでも少しずつ食べていくよう声かけをする。 ・家庭科と関連づけて、自分の食生活を見つめるようにする。				
	睡 眠	視 点	・保育士に寄り添ってもらいながら昼寝等休息を十分に取る。	・保育者の言葉かけにより昼寝や休息をとる	・昼寝や休息を自分から進んでする。	・早寝早起きの大切さに気づき、決まった時刻に寝たり起きたりする。	・一人で決まった時間に寝たり起きたりする。	・必要な睡眠時間を確保するために工夫して生活する。		
		保・学のアプローチ	・睡眠時間の大切さを知らせ、成長に必要な十分な時間が保障されるように家庭に働き掛ける。 ・早寝早起きの大切さを保育を通して知らせ意識を持たせていく			・生活の実態を把握し、学校での様子を知らせていく。 ・長期休業前の便りを渡し、生活リズムの大切さについて、知らせていく。			・日頃から健康と睡眠の関係を自覚させ、進んで生活リズムを整えていくように励ます。	
	整 理 ・ 整 頓	視 点	・自分の物と人の物を区別し、整理する場所が分かる。	・使った物を友達と一緒に片付ける。	・使った物をみんなで片付け整理する。	・物を大切に使い、もの場所にきちんと整理・整頓して返す。	・借りた物や公共物を大切に使い、決められた場所にきちんと返す。 ・身のまわりの整理整頓、後始末を進んでする。			
		保・学のアプローチ	・家庭においての、自分の持ち物の整理整頓の様子を聞き生活しやすい場を工夫していく ・身の回りなどが、自分でスムーズに出来る為の環境を子どもたちと一緒に工夫する。 ・保育者自身が常に園内外の整理や美化に努め、心地よい環境を知らせる。			・整然とした教室で気持ちよさを味わわせる。 ・物の置き場を決め、整頓できるようにする。 ・係活動で点検させていく。			・体育館、図書館等の使い方を考え、皆が気持ちよく使えるよう、後始末をする。 ・係、委員会で点検させていく。 ・家庭科で学んだ整理整頓を実践させる。	
	換 気 ・ 返 事	視 点	・日常の挨拶をする。 ・呼ばれたら返事をする。	・促されなくても、返事、挨拶ができる。	・日常生活に必要な挨拶や返事が気持ちよく自分からできる。	・元気に気持ちよく返事をし、自分から進んであいさつをする。	・どの場でもはっきりと返事をしたり、あいさつをしたりする。	・時と場、相手を考えて、適切なあいさつ・返事をする。		
		保・学のアプローチ	・保育者が進んで挨拶し、挨拶される心地よさを味わわせていく。 ・自分から挨拶できたときは認め、挨拶されて、心地良かったことを知らせる。			・よくできたときに誉める。 ・出会った人にもあいさつできるように励ます。 ・おはよう、おやすみ、ごちそうさまでした、いただきますを徹底させる。			・日頃から凡事徹底の大切さを繰り返し伝えていき、きちんと行動していたら、誰もが肯定的評価を伝える。	
	2. コミュニケーション力									
連携の観点			保 育 所			小 学 校		中 学 校		
			3歳児	4歳児	5歳児	下学年	上 学 年	全 学 年		
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力	聞 く	視 点	・相手を見て聞く。	・相手の話を進んで聞くこととする。	・相手の話を注意して聞く。	・相手の目を見て、最後まで口をはさまず聞く。	・話の中心に気をつけて、大切なことを落とさずに聞く。			
		保・学のアプローチ	・聞いてもらえることの心地良さを味わわせ、きくことの大切さを知らせる。 ・家庭でも会話を多く持ってもらいように働き掛ける。			・伸びをほめる。 ・静かに聞く場を設定する。 ・簡潔に説明する。 ・学習習慣作りを全学年で取り組む。				
	話 す	視 点	・自分の思ったことや、感じたことを言葉に表し、保育者や友だちとの言葉のやりとりを楽しむ。	・自分の経験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。 ・自分のしたいこと、して欲しいことをはっきり言う。	・話しかけや問いかけの言葉に適切に対応する。 ・自分の思いを友だちや保育者に言葉で伝える。	・自分の思いを言葉できちんと伝えようとする。	・集団の中で自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け止めたりする。	・反対意見や少数意見でも理由を付けて主張する。		
		保・学のアプローチ	・自分の思いが相手に伝わった時の充実感や話すことの楽しさを、知らせる。 ・保育者が最後まで聞き取り、話せたことへの自信を持たせる。			・自信をもたせる。（できるかもしれないという可能性を感じさせる。） ・じっくり子どもの話を聞く。 ・話すための準備をしっかりとさせ、成功体験をさせておく。 ・相手の気持ちを代弁・通訳する。				
	関 わ り	視 点	・「ありがとう」「ごめんなさい」を素直にいう。			・「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に自分から言う。 ・友だちに声をかけて遊ぶ。 ・周りの人に対して素直な受け答えをする。	・自分の利害に関係なく思いやりのある行動をする。	・相手の気持ちや立場を考えながら自分の考えを言動に表す。		
		保・学のアプローチ	・保育者が仲立ちしながら、友だちとの関わりが持てるようにする。			・共感し合う体験を通して、友だちと関わり合うことの楽しさや大切さが味わえるようになる。			・相手がどんな気持ちなのか話し伝える。 ・友達と遊んだり学んだりできるように声をかけたり、グループ編成を工夫したりする。 ・子ども自身が自分の気持ちを整理できるように話を聞く。	
			・共同体験や特別活動を通して、思いを共有できるようにする。 ・非攻撃的自己主張のスキルが身に付くような学習を実施する。 ・エンカウンターの手法を用いながら、子どもとの人間関係を育てる。							

			3. 自尊感情				
連携の観点			保育所	小 学 校			中 学 校
			3歳児	4歳児	5歳児	下学年	上 学 年 全 学 年
自尊感情	意欲・自己実現	視点	・自分でしたいことを見つけて楽しむ。 ・保育士の援助を受けながら意欲的に生活する。	・色々なことを自分から試してみようとする。	・自分の目標を持ち、意欲的に生活する。	・初めてのことで、失敗をおそれずやってみようとする。 ・自分の目で見て確かめようとする。	・いろいろなことにチャレンジしようとする。 ・自分の目標を定め、それに向かって努力を続ける。
		保・学のアプローチ	・したいことを自分から見つけられるように、生活や遊びの環境を工夫する。 ・失敗を恐れず、やろうとする気持ちを大切にしようとする。	・保育者に気持ちを伝え、安心して過ごす。	・保育者に気持ちを伝え、安心して過ごす。	・めあてを持って活動し、振り返りの場を持つ。 ・学習活動や行事の中で進んで取り組んでいる姿勢を言葉で伝え、達成感を味わわせる。	・夢や目標を意識させ、物事に進んで取り組めるように励まし、肯定的評価を伝えながら、達成感を味わわせる。
	自己肯定感	視点	・保育者に自分の気持ちを伝え、安心して過ごす。	・保育者に気持ちを伝え、安心して過ごす。	・保育者に気持ちを伝え、安心して過ごす。	・ありのままの自分を好きと感じ、のびのびと過ごす。	・自分の特徴に自信をもち、自分らしさを大切にすること。
		保・学のアプローチ	・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士良さを認め合う場をつくる。(保育活動の中で、がんばった点を共感し合う) ・役割をつくる(当番活動・お手伝い)	・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士良さを認め合う場をつくる。(いっしょに見つけ、がんばった人の紹介、終わりの会) ・役割をつくる。(当番、委員会活動、集会活動)	・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士良さを認め合う場をつくる。(いっしょに見つけ、がんばった人の紹介、終わりの会) ・役割をつくる。(当番、委員会活動、集会活動)	・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士良さを認め合う場をつくる。(いっしょに見つけ、がんばった人の紹介、終わりの会) ・役割をつくる。(当番、委員会活動、集会活動)	・ありのままを認める言葉かけをする。 ・子ども同士良さを認め合う場をつくる。(いっしょに見つけ、がんばった人の紹介、終わりの会) ・役割をつくる。(当番、委員会活動、集会活動)
			4. セルフコントロール力				
連携の観点			保 育 所	小 学 校			中 学 校
			3歳児	4歳児	5歳児	下学年	上 学 年 全 学 年
セルフコントロール力	自己抑制	視点	遊びを通して、ルールや約束を守ろうとする。	・友達との関わりを通して我慢したり、待たせたりする気持ちをもち、ルールを大切に守ろうとする。	・要求のぶつかり合いを通して、自己主張したり相手の主張を受け入れる。 ・約束やルールを守って集団行動がとれる。	・決まりを守り、集団や他者の迷惑になることは、がまんする。	・友達など周りの人のことも考えて行動しようとする。
		保・学のアプローチ	・生活や遊びの中でルールを伝えていく。 ・時には、自分の主張を抑えることによって楽しく遊べることに気付かせる。	・生活や遊びの中でルールを伝えていく。 ・時には、自分の主張を抑えることによって楽しく遊べることに気付かせる。	・生活や遊びの中でルールを伝えていく。 ・時には、自分の主張を抑えることによって楽しく遊べることに気付かせる。	・学校、学級でのルールをはっきりさせ守れたことは誉める。	・ルールの点検をする。 ・自分の行動を随時振り返らせ、周りの人の気持ちに気付かせる。
	根気強さ	視点	・自分のことは自分でしようとする。	・自分のことは自分でする。	・自分の仕事や役割を最後までやり通す。	・自分のすべきことは最後までする。	・自分のすべきことは最後までやり遂げる。
		保・学のアプローチ	・身の回りのことが自分でできたか一つひとつ見届けていき、やりとげられたら誉めて認める。 ・できないところは励ましていく。	・身の回りのことが自分でできたか一つひとつ見届けていき、やりとげられたら誉めて認める。 ・できないところは励ましていく。	・身の回りのことが自分でできたか一つひとつ見届けていき、やりとげられたら誉めて認める。 ・できないところは励ましていく。	・簡単な仕事や役割を決めることから始め、力を合わせて徐々に目標を上げ、点検しながら励ましや賞賛を与える。 ・その子にあった課題を与えてきたら誉める。	・自分の仕事や役割を決めることから始め、力を合わせて徐々に目標を上げ、点検しながら励ましや賞賛を与える。 ・自分の仕事や役割を決めることから始め、力を合わせて徐々に目標を上げ、点検しながら励ましや賞賛を与える。 ・その子にあった課題を与えてきたら誉める。

巻末資料２：数値目標

【目標１】地域に根ざした生きがいくくり～生涯学習の推進による自己実現と地域の自立促進～			
《取組方策１－１ 社会全体での学習環境整備》			
	指 標	現況値	目標値
(1)社会全体で取り組む教育の推進	コミュニティ・スクールの指定	—	平成31年指定
	コミュニティ・スクール推進委員会の開催（29～30年度）	—	年５回
	地域コーディネーターの配置	1人(29年度)	1人
	CSディレクターの配置	—	1人
	家族と一緒に時間を過ごしている児童生徒の割合	84.9%	90.0%
	子どもたちと一緒に時間を過ごしている保護者の割合	88.3%	90.0%
	図書館、公民館等が主催する土曜学習に参加している児童生徒の割合	5.0%	20.0%
(2)家庭教育の充実	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	(小6)60.0% (中3)46.4%	(小6)80.0% (中3)70.0%
	夢や希望を持ち、それに向けて努力している児童生徒の割合【再掲 2-5(1)(3)】	67.7%	80.0%
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合【再掲 2-4(1)(2)】	(小6)96.0% (中3)85.7%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合【再掲 2-4(1)】	(小6)100% (中3)89.3%	(小6)100% (中3)100%
	あいさつ・返事・履き物そろえをしている児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	90.9%	100%
	早寝・早起きをしている児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	67.4%	80.0%
	朝食を食べている児童生徒の割合【再掲 2-5(1)(4)】	93.1%	100%
	はしを正しく持つことができる児童生徒の割合【再掲 2-5(4)】	55.3%	70.0%
	家庭学習の目標時間を達成している児童生徒の割合	60.1%	95.0%
	家で、自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合	(小6)60.0% (中3)32.1%	(小6)80.0% (中3)85.0%
	家で、学校の授業の予習をしている児童生徒の割合	(小6)36.0% (中3)21.5%	(小6)50.0% (中3)50.0%
	家で、学校の授業の復習をしている児童生徒の割合	(小6)40.0% (中3)28.6%	(小6)55.0% (中3)55.0%
	「家庭学習の手引き」を活用している保護者の割合	44.4%	80.0%
	家庭学習を促している教員の割合	83.3%	100%
	メディアに触れる時間を家族で話し合っている児童生徒の割合	44.4%	60.0%
	テレビ等を見る時間が２時間以上の児童生徒の割合	(小6)72.0% (中3)57.1%	(小6)55.0% (中3)55.0%
	テレビゲーム等をする時間が１時間以上の児童生徒の割合	(小6)52.0% (中3)50.1%	(小6)45.0% (中3)40.0%
	携帯、スマホ等を使う時間が１時間以上の児童生徒の割合	(小6)4.0% (中3)46.4%	(小6)4.0% (中3)35.0%
《取組方策１－２ 生涯学習の推進》			
	指 標	現況値	目標値
(3)地域に根ざした自主活動の推進	公民館利用団体数（利用回数）	37団体 (449回)	40団体 (480回)
	公民館学習講座数（平均参加者数）	13回 (103人)	17回 (170人)
	おしどり学園の平均参加者数	28人	50人
	ボランティア活動、自然体験活動等の開催回数	4回	6回
	公民館まつり参加団体数	35団体	40団体
	公民館まつり観覧者数	393人	500人
《取組方策１－３ 人権・同和教育の推進》			
	指 標	現況値	目標値
(1)基本方針の策定	日野町人権・同和教育基本方針の策定	—	30年度策定
(2)啓発事業等の実施	日野町人権・同和教育研究集会の参加者数	134人	200人
	人権啓発講演会の参加者数		
	町民人権講座の参加者数（延べ人数）	157人(26年度)	200人
	小地域座談会の開催地区数	44地区(26年度)	50地区
	生活実態の調査、分析	—	取組への反映
(3)養成講座の開催	小地域座談会等入権学習推進者養成講座の参加者数	20人(26年度)	30人
(4)隣保館・集会所事業の展開	日野町解放文化祭の参加者数（延べ人数）	440人(26年度)	500人
	部落解放標語・人権尊重標語の応募総数	243点(26年度)	一般の部の応募数増

【目標2】次代を担う人づくり 『日野町子ども15年プラン（第Ⅱ期）』 ～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進【保小中一貫教育】～			
《取組方策2-4 人間尊重の精神と生命を大切に教育の推進》			
	指 標	現況値	目標値
(1)生命尊重の心を育む教育の推進	まわりの人たちと仲良く過ごしている児童生徒の割合【再掲 2-4(2)2-5(1)】	89.8%	95.0%
	学級生活満足群の児童生徒の割合【再掲 2-5(3)2-6(6)】	51.9%	80.0%
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-4(2)】	(小6)96.0% (中3)85.7%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	(小6)100% (中3)89.3%	(小6)100% (中3)100%
	いじめ解消率【再掲 2-6(6)】	—	100%
(2)人権教育の推進	人権教育の視点に学習の指導案作成及び授業公開	年1回公開	年1回以上
	人権教育アンケートの実施	—	年1回
	保学会人権教育研修会の開催	隔年開催	年1回
	人権教育推進計画の見直し	第8次改定	本計画と同時に改定
	まわりの人たちと仲良く過ごしている児童生徒の割合【再掲 2-4(1)2-5(1)】	89.8%	95.0%
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-4(1)】	(小6)96.0% (中3)85.7%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	育てたい資質、能力の達成度	—	80.0%
《取組方策2-5 豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進》			
	指 標	現況値	目標値
(1)学びの基礎を育むプログラムの展開	あいさつ・返事・履き物そろえをしている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	90.9%	100%
	早寝・早起きをしている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	67.4%	80.0%
	朝食を食べている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-5(4)】	93.1%	100%
	自分の考えや意見を発表することが得意な児童生徒の割合【再掲 2-6(5)】	(小6)56.0% (中3)32.1%	(小6)60.0% (中3)50.0%
	友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童生徒の割合【再掲 2-6(5)】	(小6)100% (中3)92.9%	(小6)100% (中3)95.0%
	みんなで協力しうれしかった経験のある児童生徒の割合【再掲 2-5(6)】	(小6)92.0% (中3)75.0%	(小6)95.0% (中3)85.0%
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	(小6)60.0% (中3)46.4%	(小6)80.0% (中3)70.0%
	難しいことでも挑戦する児童生徒の割合	(小6)68.0% (中3)71.4%	(小6)80.0% (中3)75.0%
	ものごとを最後までやり遂げてうれしかった経験のある児童生徒の割合	(小6)96.0% (中3)92.9%	(小6)96.0% (中3)95.0%
	夢や希望を持ち、それに向けて努力している児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-5(3)】	67.7%	80.0%
	まわりの人たちと仲良く過ごしている児童生徒の割合【再掲 2-4(1) (2)】	89.8%	95.0%
	授業の中で「わかった」「できた」と感じる児童生徒の割合	86.3%	90.0%
(2)学力向上の推進	全国学力・学習状況調査における正答率	全国平均以上 3/10	全調査全国平均以上
	標準学力調査における正答率	全国平均以上 8/29	全調査全国平均以上
	公開保育、公開授業及び事後研究会の回数【再掲 2-7(2)】	一人1回以上 (小)	一人1回以上
	姿勢等に気を付けている児童生徒の割合	—	90.0%
	学校のきまりを守っている児童生徒の割合	(小6)88.0% (中3)82.1%	(小6)95.0% (中3)95.0%
(3)豊かな人間性、社会性を育む教育の推進	夢や希望を持ち、それに向けて努力している児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-5(1)】	67.7%	80.0%
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童生徒の割合	(小6)32.0% (中3)25.0%	(小6)50.0% (中3)50.0%
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心のある児童生徒の割合	(小6)48.0% (中3)39.3%	(小6)65.0% (中3)65.0%
	週に1回以上新聞を読んでいる児童生徒の割合	(小6)20.0% (中3)17.8%	(小6)25.0% (中3)25.0%
	学級生活満足群の児童生徒の割合【再掲 2-4(1)2-6(6)】	51.9%	80.0%
	学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	(小6)92.0% (中3)71.4%	(小6)95.0% (中3)85.0%
	不登校出現率【再掲 2-6(6)】	0%	0%
	欠席日数7日以上（3月末）の出現率	15.6%	5.0%以下
	新体力テストにおける平均値	全国平均以上 13/38	全種目全国平均以上
(4)健やかな体づくりの推進	健康な体づくりをしている児童生徒の割合	78.6%	90.0%

	朝食を食べている児童生徒の割合【再掲 1-1(2)2-5(1)】	93.1%	100%
	野菜を毎食食べる児童生徒の割合	41.6%	65.0%
	好き嫌いせず、バランスよく食べている児童生徒の割合	35.5%	70.0%
	給食を残さず食べている児童生徒の割合	88.1%	95.0%
	間食（おやつ）の時間や内容を考えて摂っている児童生徒の割合	40.4%	60.0%
	子どもだけで食事をすることがある児童生徒の割合	(朝食)39.8% (夕食)15.2%	(朝食)15.0% (夕食)10.0%
	はしを正しく持つことができる児童生徒の割合【再掲 1-1(2)】	55.3%	70.0%
	給食時間中に、姿勢等に気をつけている児童生徒の割合	77.9%	90.0%
	食事のあいさつをする児童生徒の割合	96.5%	100%
	給食をまわりの友達と楽しく食べている児童生徒の割合	81.0%	100%
	食事の準備や片付けをする児童生徒の割合	77.9%	95.0%
	児童生徒のう歯保有率	30.4%	10.0%
	学校保健委員会を年 2 回以上開催する学校の割合	0%	100%
(5)町のよさを伝える教育の推進	日野町のよさを知っている児童生徒の割合	82.4%	90.0%
	日野町のことが好きな児童生徒の割合	85.0%	95.0%
	将来日野町に住みたいと考える児童生徒の割合	—	80.0%
(6)主体的に課題解決する力を育成する教育の推進	「総合的な学習の時間」で学習したことが役に立つと思う児童生徒の割合	(小6)84.0% (中3)64.3%	(小6)90.0% (中3)75.0%
	「総合的な学習の時間」において、探究的活動に取り組んでいると思う児童生徒の割合	(小6)64.0% (中3)53.6%	(小6)70.0% (中3)60.0%
	「総合的な学習の時間」の小中一貫カリキュラムの策定	—	29 年度策定
	「特別活動」の小中一貫カリキュラムの策定	—	29 年度策定
	学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている児童生徒の割合	(小6)80.0% (中3)78.6%	(小6)90.0% (中3)80.0%
	友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていく児童生徒の割合	(小6)96.0% (中3)67.8%	(小6)96.0% (中3)80.0%
	みんなで協力しうれしかった経験のある児童生徒の割合【再掲 2-5(1)】	(小6)92.0% (中3)75.0%	(小6)95.0% (中3)85.0%
(7)社会の進展に対応できる教育の推進	情報モラル教育の実施学級の割合	83.3%	100%
	タブレット端末の全児童生徒への配備	14.7%	100%
	ネットワーク上のルールやマナーを守って情報端末を利用している児童生徒の割合	—	90.0%
	外国語活動、外国語の小中一貫カリキュラムの策定	—	29 年度策定
	ALT の配置	1 人	1 人
	小学校での担任を T1 とする外国語活動、外国語の授業の割合	100%	100%
	外国語でコミュニケーションをとることが好きな児童生徒の割合	—	80.0%
	英語教室「英語寺子屋」に参加している児童生徒	15 人 (29年度)	40 人
《取組方策 2－6 保小中連携の推進》			
	指 標	現況値	目標値
(2)就学支援の充実	SSWer の配置	週 1 日	週 5 日
(3)特別支援教育の推進	個別の教育支援計画の活用率	100%	100%
	個別の指導計画の活用率	100%	100%
	中学校から高等学校への個別の教育支援計画の引継率	100%	100%
(4)小 1 プロblem の解消	アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実施率	100%	100%
	児童支援員の配置	2 人	2 人
	自分で考え、自分で行動する児童の割合	—	(小1)90.0%
(5)小小連携の充実	自分の考えや意見を発表することが得意な児童の割合【再掲 2-5(1)】	(小6)56.0%	(小6)60.0%
	友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童の割合【再掲 2-5(1)】	(小6)100%	(小6)100%
(6) 中 1 ギャップの解消と小中一貫教育	中学校の先生と一緒にしている授業はよく分かるという児童の割合	77.8%	80.0%
	不登校出現率【再掲 2-5(3)】	(中1)0%	(中1)0%
	いじめ解消率【再掲 2-4(1)】	—	(中1)100%
	学級生活満足群の生徒の割合【再掲 2-4(1)2-5(3)】	—	(中1)80.0%
(8)小中一貫カリキュラムの作成	小中一貫カリキュラムの作成	—	32 年度完成
	小学校高学年教科担任制導入	—	カリキュラム作成と並行して検討
《取組方策 2－7 保育士、教員の資質の向上》			
	指 標	現況値	目標値
(1)教職員研修の充実	小学校教員の保育参加参加率	40.0%	100%
(2)校（所）内研修	異校種授業公開、授業研究会への参加回数	1 回以上 (中)	1 回以上

の充実	校（所）内研修への外部講師の招聘回数	2 回（中）	年2回以上
	公開保育、公開授業及び事後研究会の回数【再掲 2-5(2)】	一人1回以上（小）	一人1回以上
	授業の中で見通しを持たせる工夫をしている教員の割合	100%	100%
	体験的な学習を取り入れている教員の割合	96.7%	100%
	資料を使って調べたりする活動を取り入れている教員の割合	76.7%	85.0%
	考え方、分かったことをノートに書かせている教員の割合	93.3%	95.0%
	考え方や理由を説明する学習活動を設定している教員の割合	83.3%	85.0%
	話し合う活動を設定している教員の割合	73.3%	80.0%
	一人一人に応じた手立てや支援をしている教員の割合	90.0%	100%
	振り返りの工夫をしている教員の割合	70.0%	85.0%
	安心して発言できる雰囲気づくりを工夫している教員の割合	96.6%	100%
	「アクティブ・ラーニング」を意識した授業づくりをしている教員の割合	—	85.0%
【目標3】学びのセーフティネット～教育環境の充実と学習機会の確保～			
《取組方策3-8 教育環境の充実》			
指 標		現況値	目標値
(1)安全教育の充実	薬物乱用防止教室の実施率	100%	100%
(2)安全、安心な学校給食	給食における地産地消の実施率	78.0%(25年度)	75.0%
《取組方策3-8-2 安心して子育てができる環境づくり》			
指 標		現況値	目標値
(1)子育て支援の充実	すくすく「ひのっこ」子育て応援事業支援対象者数	41 人	70 人
	保育所入所待機児童数	0 人	0 人
《取組方策3-9 人口減少に対応した学校教育の充実》			
指 標		現況値	目標値
(1)教育制度及び教育環境の整備	「日野町教育のあり方」検討会(仮称)の開催	—	年1回以上
	義務教育学校（小中一貫校）の設置	—	平成32年度中に方向性の明示
(2)連携の推進	近隣町村立学校との連携事業回数	—	年1回以上
《取組方策3-10 すべての者への学習機会の確保》			
指 標		現況値	目標値
(1)学習機会の提供	出前公民館講座実施回数	10 回	20 回
(2)日野高校魅力化支援	日野高校志願者数	46 人	100 人
【目標4】心身ともに健康で豊かな地域づくり～生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境整備～			
《取組方策4-11 スポーツ・レクリエーションの振興》			
指 標		現況値	目標値
(1)スポーツ行事の実施	町民体育祭参加自治会数	11 組	14 組
	鶯の池マラソン大会参加者数	383 人	500 人
	日野町駅伝大会参加者数	89 人	150 人
(3)推進委員の養成	スポーツ指導員数	0 人	1 人
	スポーツ推進委員数	12 人	12 人
《取組方策4-12 ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実》			
指 標		現況値	目標値
(1)レクリエーションスポーツの推進	レクリエーションスポーツ大会開催回数	2 回	2 回
	レクリエーションスポーツ大会参加者数	29 人	50 人
【目標5】地域に根ざした文化の継承と創造～芸術文化の振興と文化財の保護～			
《取組方策5-13 文化活動の推進》			
指 標		現況値	目標値
(1)芸術文化事業	文化センター来場者数	16,944 人(25年度)	17,600 人
	文化センター利用率	65.2%	68.0%
《取組方策5-14 読書活動の推進》			
指 標		現況値	目標値
(1)図書館機能の充実	日野町図書館を利用している児童生徒の割合	45.0%	55.0%
(2)読書活動を推進するための機会の提供と充実	本を読むことが好きな児童生徒の割合	82.6%	85.0%
	平日の読書時間が10分以上の児童生徒の割合	62.1%	70.0%
	1か月に1冊以上の本を読んでいる児童生徒の割合	85.1%	90.0%
(3)環境の整備と人の育成	学校図書館を、1か月に5回以上利用している児童生徒の割合	49.7%	60.0%
	学校図書館司書職員の配置	2 人	各校1人
《取組方策5-15 文化財の保存、活用、伝承》			
指 標		現況値	目標値
(1)文化財、遺跡等の保存と活用	歴史民俗資料館来館者数	220 人	300 人
(2)歴史、文化等の	「文化・史跡めぐりウォーキング」参加者数	30 人	50 人

伝承			
(3)町誌編さん	町誌編纂計画推進到達割合	10.0%	平成 31 年 100%
	町誌作成資料の収集割合	20.0%	平成 31 年 100%